



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社
コード番号 6737 URL <https://www.eizo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 学 TEL 076-275-4121
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	58,161	1.8	2,559	△5.3	4,544	27.0	3,740	△4.0
2023年3月期第3四半期	57,137	△10.3	2,701	△67.9	3,577	△60.9	3,898	△42.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 9,298百万円 (ー%) 2023年3月期第3四半期 117百万円 (△98.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	181.81	—
2023年3月期第3四半期	185.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	164,212	126,501	77.0	6,148.04
2023年3月期	155,935	120,580	77.3	5,861.22

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 126,501百万円 2023年3月期 120,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	65.00	125.00
2024年3月期	—	100.00	—		
2024年3月期（予想）				100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	0.8	5,100	2.0	7,200	17.5	5,100	△13.0	247.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	21,981,160株	2023年3月期	21,981,160株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,405,254株	2023年3月期	1,408,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	20,574,575株	2023年3月期3Q	20,959,685株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日（2024年1月31日）開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国において景気の持ち直しが見られるものの、欧州では金融引き締めにより景気が下押しされ金利高止まりやエネルギー価格高騰などの影響を受けマイナス成長に転ずるなど景気は悪化しており、回復には時間を要するものと思われま

当社グループは、映像技術を核とした顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供する「Visual Technology Company」として、世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い映像製品の提供、システムソリューションの提案を行っております。

2023年度は、第7次中期経営計画の最終年度となります。強固な財務基盤を活かし研究開発・設備・人的資本への投資を引き続き積極的に実行し、事業成長を実現してまいります。また、「撮影、記録、配信、表示」から成るImaging Chainをシステム事業として展開するEVS (EIZO Visual Systems) をより強くすることで、事業領域を更に拡大し新たな価値を提供してまいります。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は58,161百万円（前年同期比1.8%増）と前年同期並みとなりました。ヘルスケアの販売増加や円安効果がありましたが、欧州経済の減速によりB&P (Business & Plus) は減少しました。

利益面は、売上総利益は18,717百万円（前年同期比5.5%増）、売上総利益率は32.2%（同1.1ポイント上昇）となりました。また、販売費及び一般管理費は、賃上げ等による人件費の増加、研究開発活動の強化、展示会出展等により16,158百万円（前年同期比7.5%増）となりました。その結果、営業利益は2,559百万円（同5.3%減）、経常利益は為替差益の計上等により4,544百万円（同27.0%増）となりました。投資有価証券売却益1,127百万円（前年同期は1,943百万円）を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,740百万円（同4.0%減）となりました。

市場別の売上高は次のとおりです。

[B&P (Business & Plus)]

売上高は、10,846百万円（前年同期比20.7%減）となりました。欧州では引き続きIT投資の先送り、PC販売の減少の影響及び市場における在庫調整等により前年同期を下回り、本格的な需要の回復は来期以降となる見通しです。

[ヘルスケア]

売上高は、26,198百万円（前年同期比9.3%増）となりました。診断用途向けでは、海外は欧州を中心に販売が減少し、国内は案件の後ろ倒し等が見られました。内視鏡用途向けでは、欧米、中国及び日本での販売が好調に推移し、全体で前年同期を上回る結果となりました。

[クリエイティブワーク]

売上高は、4,438百万円（前年同期比9.8%減）となりました。欧州における景気の減速や11月まで続いていた米ハリウッドのストライキの影響により販売が減少し、前年同期を下回りました。

[V&S (Vertical & Specific)]

売上高は、7,058百万円（前年同期比5.4%増）となりました。航空管制向けは案件の後ろ倒しにより売上高が減少しました。その他産業用途向けは顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売が伸びました。船舶向けは新規造船向けの需要増を受けて好調に推移しました。EVSは監視向けソリューションの納入により売上高が増加しました。この結果、全体で前年同期を上回りました。

[アミューズメント]

売上高は、5,659百万円（前年同期比33.0%増）となりました。売上高は前年同期を上回りましたが、当業界を取り巻く市場環境は規則改正後の遊技人口の減少と店舗数の減少等により業界全体の規模縮小が進んでおり、厳しい状況が継続しております。

[その他]

売上高は、3,958百万円（前年同期比9.3%増）となりました。アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したことによるものです。

(単位：百万円)

市場	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
B&P (Business & Plus)	13,674	23.9	10,846	18.7	△2,827	△20.7
ヘルスケア	23,968	42.0	26,198	45.0	2,230	9.3
クリエイティブワーク	4,919	8.6	4,438	7.6	△481	△9.8
V&S (Vertical & Specific)	6,696	11.7	7,058	12.1	361	5.4
アミューズメント	4,255	7.5	5,659	9.7	1,404	33.0
その他	3,622	6.3	3,958	6.9	336	9.3
合計	57,137	100.0	58,161	100.0	1,024	1.8

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は現金及び預金や投資有価証券が増加したことにより8,276百万円増加し164,212百万円、負債の部は短期借入金の増加により2,355百万円増加し37,711百万円となりました。純資産の部はその他有価証券評価差額金等の増加により5,921百万円増加し126,501百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

能登半島地震による影響額として500百万円の特別損失の計上を見込みます。さらに、売上高への影響として約500百万円の減収及びこれに伴う営業利益の減少を見込みます。詳細については、本日公表の「令和6年能登半島地震による業績への影響の見通しについて（特別損失）」をご覧ください。

2023年10月31日の「2024年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,557	13,942
受取手形、売掛金及び契約資産	18,980	17,128
電子記録債権	1,680	2,094
商品及び製品	17,538	19,542
仕掛品	2,191	2,281
原材料及び貯蔵品	28,289	25,998
その他	1,765	1,308
貸倒引当金	△100	△99
流動資産合計	79,904	82,198
固定資産		
有形固定資産	21,988	22,329
無形固定資産	748	751
投資その他の資産		
投資有価証券	52,190	58,198
その他	1,104	734
投資その他の資産合計	53,294	58,932
固定資産合計	76,031	82,013
資産合計	155,935	164,212
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,897	4,011
短期借入金	1,575	8,075
未払法人税等	1,074	434
賞与引当金	1,686	1,073
製品保証引当金	2,031	2,065
その他	6,452	5,320
流動負債合計	19,717	20,979
固定負債		
長期借入金	947	903
役員退職慰労引当金	71	71
リサイクル費用引当金	580	536
退職給付に係る負債	2,598	2,609
その他	11,440	12,610
固定負債合計	15,638	16,731
負債合計	35,355	37,711

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,320
利益剰余金	83,896	84,243
自己株式	△3,998	△3,988
株主資本合計	88,638	89,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,851	32,981
為替換算調整勘定	2,599	4,145
退職給付に係る調整累計額	491	374
その他の包括利益累計額合計	31,942	37,500
純資産合計	120,580	126,501
負債純資産合計	155,935	164,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)
売上高	57,137	58,161
売上原価	39,400	39,443
売上総利益	17,736	18,717
販売費及び一般管理費	15,034	16,158
営業利益	2,701	2,559
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	1,040	1,090
為替差益	—	683
その他	154	327
営業外収益合計	1,205	2,117
営業外費用		
支払利息	28	68
為替差損	258	—
不動産賃貸費用	—	53
その他	42	10
営業外費用合計	329	132
経常利益	3,577	4,544
特別利益		
投資有価証券売却益	1,943	1,127
特別利益合計	1,943	1,127
特別損失		
固定資産除却損	—	187
投資有価証券売却損	5	—
特別損失合計	5	187
税金等調整前四半期純利益	5,515	5,483
法人税、住民税及び事業税	1,494	1,884
法人税等調整額	123	△141
法人税等合計	1,617	1,743
四半期純利益	3,898	3,740
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,898	3,740

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,898	3,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,436	4,130
為替換算調整勘定	749	1,545
退職給付に係る調整額	△94	△117
その他の包括利益合計	△3,781	5,558
四半期包括利益	117	9,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117	9,298
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

3. 補足情報

(市場区分について)

区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途（タッチモニター含む）
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発